

光あふれ、風も輝く
原瀬小学校「学校だより」



風光

二本松市立原瀬小学校
号 外 3
2020年 6月12日
校長 大越 吾都臣

子ども達が笑顔で「学校が楽しい」「友達が好き」「勉強が面白い」と言える学校を目指しています。

新しい生活様式

学校再開から2週間が経ちました



6月10日(水)感染予防の細心の注意を払いながら、令和2年度初となる全校児童の集合写真を撮りました。次回の機会もあることを願って…

「あらゆる活動について感染防止対策を講じること大前提に本格的に再開していく。感染リスクがあるから実施しないのではなく、これからは感染リスクをコントロールしながら、どうすれば実施できるかという発想が重要である。」

5月25日の緊急事態宣言の全面解除について、政府が述べた言葉の一部です。緊急事態宣言が解除になったとは言え、新型コロナウイルスに対する感染の恐れが無くなったわけではありません。学校としては、文科省の示すガイドラインや次の厚生労働省が示した「**日常を営む上での基本的な生活様式**」に沿いつつ、学校の教育活動の充実を図っていきたいと考えます。

- ☐ まめに手洗い・手指消毒
- ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気
- ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

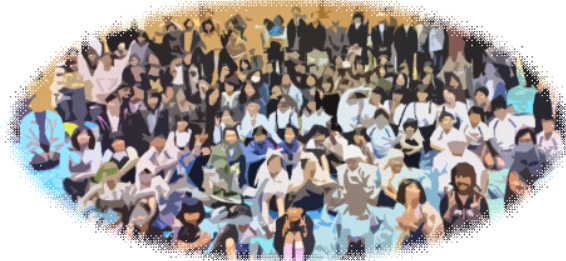
保護者・地域の方々へのお願い

学校が再開し通常の教育活動が行われるようになったのは5月27日（水）からです。感染へのリスクもありながら、保護者の方々のご理解とご協力、先生方の消毒作業や子ども達への指導など、これまで何とか子ども達が不便なく学校生活が送れるようになったところであります。しかし、臨時



休校中の学習の遅れや体力の低下を改善するにはもう少し時間が掛かるものと感じます。新型コロナウイルスの予防への対応等、制限のある教育活動の中で、これらを進めていくには、教育課程の見直しが必要となってきます。行事等を精選し、効率的に進める工夫をしながらも、教育的な成果が出せるよう努力をしていきたいと考えております。

また、人間の脳の前頭葉は成長を続け、他者との関わりの中で社会性を身につけていくと言われていています。これまでも、保護者の皆様や地域の方々に色々な場面で関わっていただき、刺激を与えていただいたことで、言葉での理解ではなく、体験を通じた理解として身につけてきたものが多くあります。礼儀を大切にする態度、年長者への敬意、地域を愛し伝統を守ろうとする思い、自分たちが支えられていることに対する感謝の心など、学校の中だけでは補えないものばかりです。



今後の教育活動でも、感染症対策を行った上で、積極的な関わり場面を設けていきたいと考えますので、ご協力をよろしくお願いいたします。また、このような状況下での、学校との関わり方についてよいアイディア等あれば学校にご連絡いただければ幸いです。

（原瀬小学校：0243-22-0946）

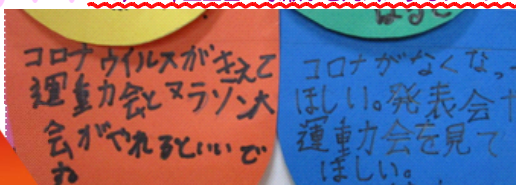
- * 6月14日（日）6:00～ PTA奉仕作業（草刈り・プール清掃）
- * 7月 1日（水）11:10～ 第1回原瀬小学校「学校評議員会」
- * 7月 3日（金）13:15～ 授業参観・学級懇談会
- * 7月 5日（日）8:00～ PTA資源回収



「アマビエ」さん、みんなの願いを叶えてよ！！ 「5、6年生企画「原瀬小を元気にするプロジェクト」



*ウロコの拡大写真



5、6年生が企画し、全校児童と教職員が、疫病除け妖怪「アマビエ」への願い事を「ウロコ」に書き、仕上げました。

- 「学校がまた休校にならないように。」
- 「発表会や運動会を見てほしい。」
- 「ディズニーランドに行きたい。」
- 「水曜日のサッカーがやりたい。」
- 「運動会とマラソン大会がやれるといいです。」
- 「みんなが今より笑顔になれるようにしたいです。みんなが今よりも、もっと元気になってほしいです。」
- 「おばあちゃんと、おかあさんといっしょに温泉に行きたい。」



- 「友達とマスクをつけないでおしゃべりをしたり、学習をしたりしたいです。」
- 「行きたいところに行ける。会いたい人に会える。周りの人と大声で笑い合える世の中に戻りますように。」（先生）